

2025年9月期 第3四半期 連結決算説明資料 (2024年10月～2025年6月)



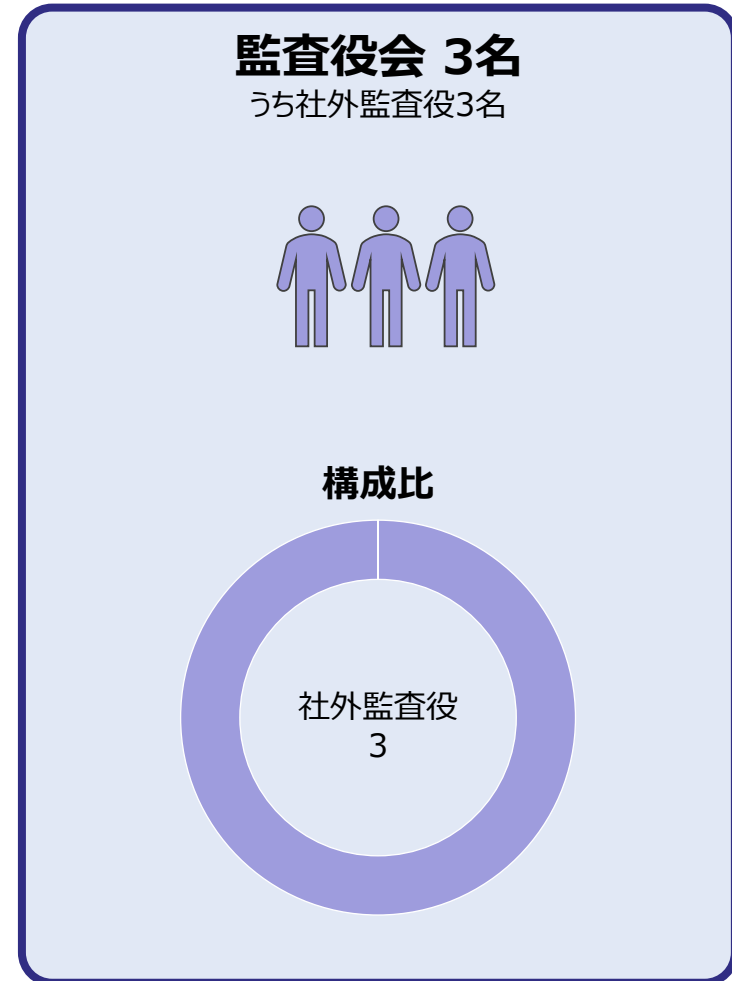
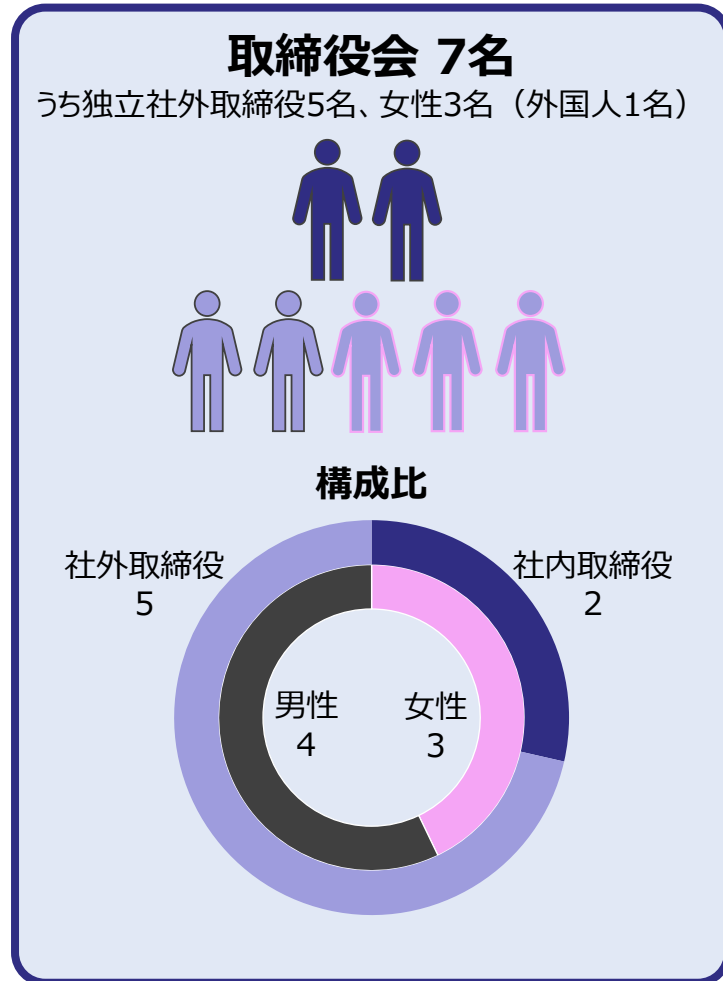
株式会社 F P G
(証券コード：7148)

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

コーポレート・ガバナンス体制

- 当社取締役会は7名中5名が独立社外取締役となり、さらに7名中3名が女性取締役（内、1名は外国人）で構成され、高い独立性と多様性を確保しております
 また、監査役会は3名全員が独立社外監査役となります



- さらなる企業認知度向上のため、当社初のTVCMを2024年10月よりテレビ東京系列「WBS(ワールドビジネスサテライト)」※¹において、全国※²で放映中
- さらに、2025年4月より、テレビ朝日系列「報道ステーション」※³でも、全国※²で放映を開始



小口化という新たなカタチ



一人ひとりに、
本当に価値ある資産を。

F P G公式YouTubeチャンネルでも公開中



<https://youtu.be/axQwWBY2O3o>

※¹ テレビ東京系列「WBS(ワールドビジネスサテライト)」放送時間：月曜日～木曜日 22:00～22:58 金曜日 23:00～23:58

※² 一部地域を除く

※³ テレビ朝日系列「報道ステーション」放送時間：月曜日～金曜日 21:54～23:10 当社CM放映日：毎週金曜日

© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

- FPGを中心に、FPG証券、FPG信託、そしてFPG Amentumと、当社グループの総合力を結集した、国内初の個人向け航空機小口化商品(1口100万円)「F.bit航空機小口化商品第1号」(F.bit第1号)の販売を開始※1
- 6月30日に申込受付を開始し、発行口数を上回る申込みがあり、抽選の結果、7月24日に完売※2
- 好評につき、F.bit第2号の組成に着手



完売 **<国内初>**
国内公募型 航空機受益証券発行信託

個人向け航空機小口化商品

F.bit

※1 2025年5月12日 PR開示「<国内初>公募型の受益証券発行信託による個人投資家向け航空機小口化商品(1口100万円)の取扱い開始のお知らせ」

※2 2025年7月24日 PR開示「個人投資家向け航空機小口化商品「F.bit 航空機小口化商品第1号」の完売のお知らせ」

リアルとオンラインにおける営業基盤の展開・強化

- 2025年4月の盛岡営業所に続き、2025年7月1日付で水戸営業所と京都営業所を新設※1し、拠点数は17に拡大。今後も、地域密着型営業の強化に向けた営業拠点の増設を推進
- お客様の利便性向上と、DX推進による業務効率化の観点から、オンライン取引体制の整備を積極的に推進

<オンライン取引体制の整備のマイルストーン>

【第1弾】

2025年4月より、リースファンド事業で提供しているオペレーティング・リース案件へのオンライン取引を開始※2



オンライン取引開始のご案内
オペレーティング・リース案件への出資がオンラインで行えます

FPG

口座開設申込はこちら → <https://online.fpg.jp>

Point1 いつでもどこでも取引可能です

Point2 印鑑不要 契約手続きがスムーズに

Point3 ペーパーレス 書類紛失の心配がありません

Point4 オンライン完結 出資申込から契約までオンラインで完結

【第2弾】

F.bit第1号の取扱い開始に伴い、FPG証券のウェブサイトにて口座開設・申込・契約・保有管理までオンライン完結型のシステムを構築



F.bit

航空機に小口投資
という新しい選択。

投資金額	予想分配率	予定運用期間
1口 100万円	初年度 年6.0%	原則として 2年10か月

※運用為替レートを一定と仮定して試算した初年度の税引前予想分配率。

商品の魅力はこちら

[本件航空機] エアバスA320-200 型航空機
※本製品の販売価格はエアバスA320-200型航空機の市価を一定割合として算出しています。

FPG Financial Partners Group **FPG証券** Financial Partners Group

【第3弾】

今後は不動産小口化商品や海外不動産投資商品にも展開予定※3



※1 2025年6月19日付 PR開示 [「営業所新設に関するお知らせ」](#)

※2 2025年4月17日付 PR開示 [「オンライン取引開始のお知らせ ～印鑑不要・ペーパーレスでいつでもどこでも、より利便性の高いお取引を実現～」](#)

※3 物件画像はイメージです。オンライン取引対象案件ではありません

第3四半期累計実績と進捗率① 連結

- 連結売上高は906.9億円（前年同期比＋93.8億円、＋11.5%）と、第3四半期累計での過去最高※を更新したものの、売上総利益は272.1億円（前年同期比▲32.4億円、▲10.6%）と、増収減益（要因については次項参照）
- 通期予想の達成に向けて第4四半期も積極的な組成と販売を継続

(金額：億円)

連結P/L	第3四半期		対前年同期比		2025年9月期	
	2024年9月期	2025年9月期	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	813.1	906.9	+93.8	+11.5%	1,235.0	73.4%
売上総利益	304.6	272.1	▲32.4	▲10.6%	-	-
営業利益	230.9	192.7	▲38.1	▲16.5%	317.0	60.8%
経常利益	234.7	201.8	▲32.8	▲14.0%	317.0	63.7%
売上高経常利益率	28.9%	22.3%	-	▲6.6%	25.7%	-
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	166.2	137.5	▲28.6	▲17.2%	220.0	62.5%
売上高当期(四半期)純利益率	20.4%	15.2%	-	▲5.3%	17.8%	-
1株当たり年間配当金（円）	-	-	-	-	130.40	-

※ 第3四半期累計ベースでの過去最高売上高：2024年9月期 813.1億円

第3四半期累計実績と進捗率② 事業別

- **リースファンド事業**：投資家からの強い需要に支えられ、販売額は堅調に推移。一方で、販売額に対する手数料総額が低いものの、投資家から好評の3年未満の短期フルエクイティ案件※1の販売構成比が増加したことが主な要因となり、減収減益
- **国内不動産ファンド事業**：投資家の旺盛な需要が継続し増収。一方で、原価率の高いプレミアムな大規模案件である「GINZA SIX」や「六本木ヒルズ森タワー」等の販売構成比が増加したことや、前年に計上があった出口を迎えた案件※2の一括売却による成功報酬（売上総利益ベースで5.3億円）の剥落を主因に減益
- **海外不動産ファンド事業**：期初在庫は上期で完売。トランプ政権による関税政策等の影響を注視し、新たな案件組成に対しては慎重な姿勢を継続

(金額：億円)

事業別売上高	第3四半期		対前年同期比		2025年9月期	
	2024年9月期	2025年9月期	増減額	増減率	通期予想	進捗率
リースファンド事業	236.5	205.2	▲31.2	▲13.2%	270.0	76.0%
国内不動産ファンド事業	552.4	663.4	+111.0	+20.1%	910.0	72.9%
海外不動産ファンド事業	19.3	35.0	+15.6	+81.2%	50.0	70.0%
その他事業	4.8	3.2	▲1.6	▲32.9%	5.0	65.6%
事業別売上総利益						
リースファンド事業	210.6	172.4	▲38.1	▲18.1%	-	-
国内不動産ファンド事業	75.8	70.5	▲5.2	▲7.0%	-	-
海外不動産ファンド事業	15.9	30.9	+14.9	+93.4%	-	-
その他事業	2.1	▲1.7	▲3.9	-	-	-

※1 本資料P.20「本資料中の事業区分と売上高について」をご参照

※2 2024年2月1日付 PR開示「[FPGリンクス原宿](#)」の一括売却に関するお知らせ」

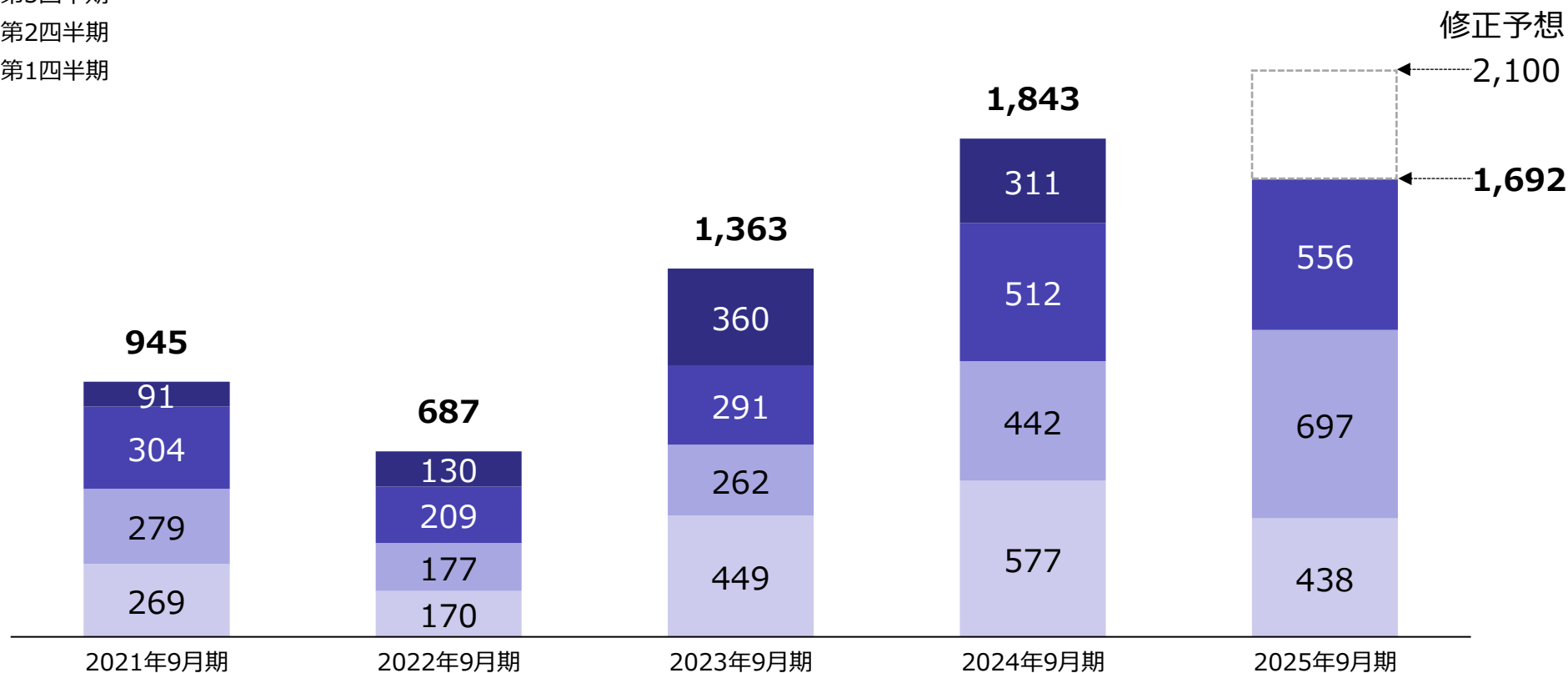
リースファンド事業 販売

- 投資家から好評の3年未満の短期フルエクイティ案件※¹がけん引し、販売額は1,692億円と第3四半期累計での過去最高販売額※²を更新
- 通期予想売上高270.0億円に向けて、販売額の通期予想を1,700億円から2,100億円に修正し、過去最高の年間販売額を目指す

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



※1 本資料P.20「本資料中の事業区分と売上高について」をご参照

※2 第3四半期累計での過去最高出資金販売額：2024年9月期 1,532.6億円

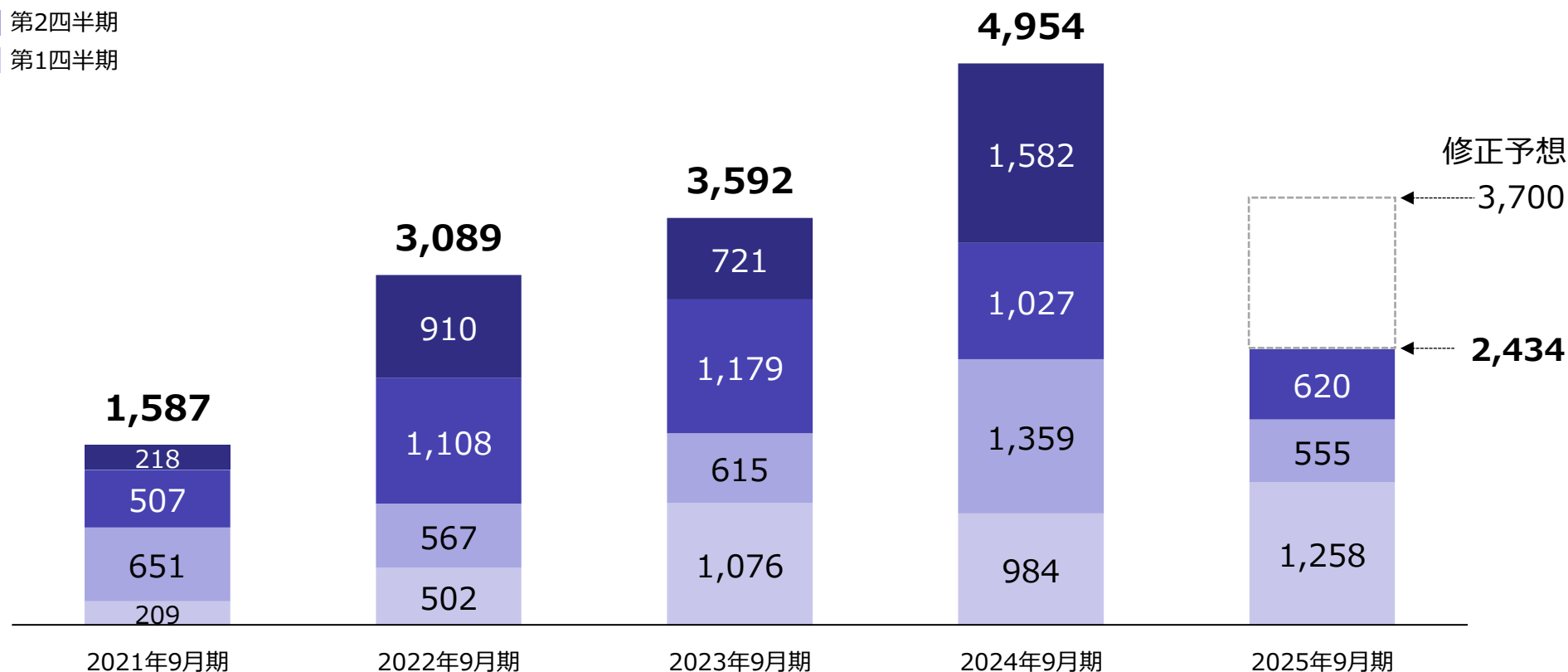
© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

- 受渡しスケジュールの遅延等が発生したため、組成額の通期予想を、5,000億円から3,700億円に修正
- 来期第1四半期の組成額は、遅延等により期ずれとなった案件を含め、1,500億円超となる見通し

組成額の推移

(金額：億円)

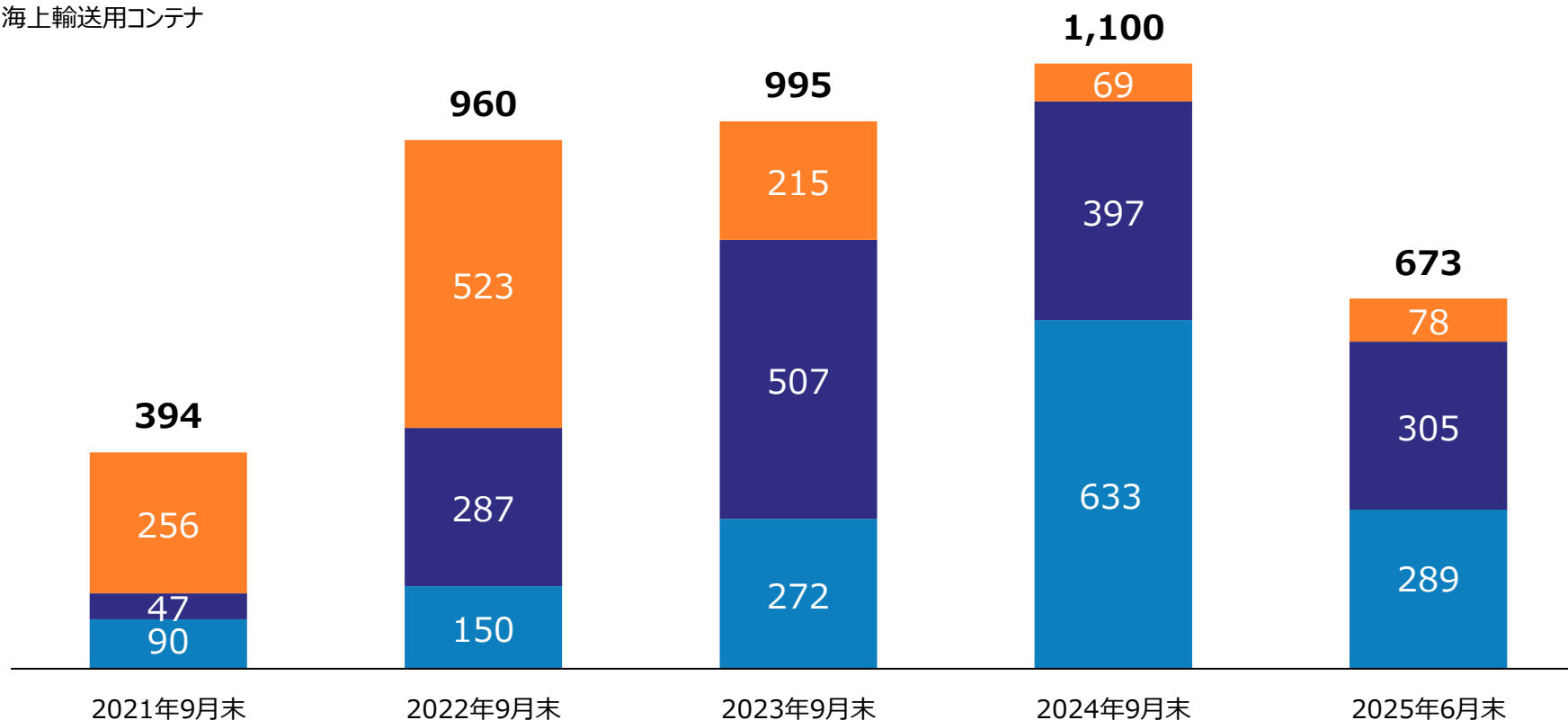
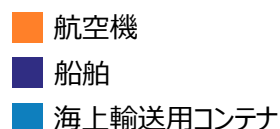
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 好調な販売に伴い一時的に在庫が減少するも、第4四半期以降も積極的な組成を継続することにより、来期第1四半期末には前期末並みの水準の在庫を確保できる見通し

在庫の推移

(金額：億円)

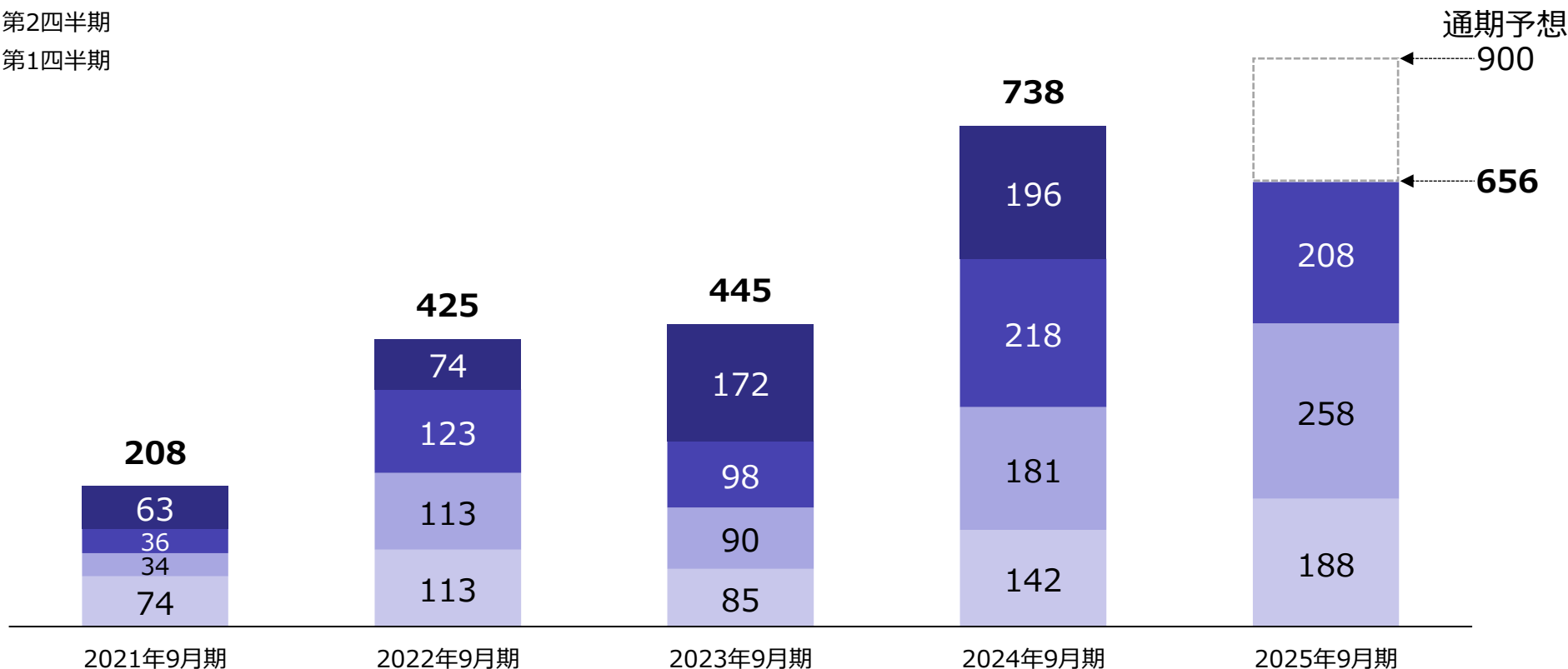


- 投資家の旺盛な需要が継続し、前年に記録した第3四半期累計での過去最高販売額※¹を更新
- 2025年5月に竣工した、自社開発案件「プレステージレジデンス白金台」※²を含め、積極的な販売を継続

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



※¹ 第3四半期累計での過去最高販売額：2024年9月期 541億円

※² 2025年6月16日付 PR開示 [「開発案件建物の取得完了に関するお知らせ」](#)

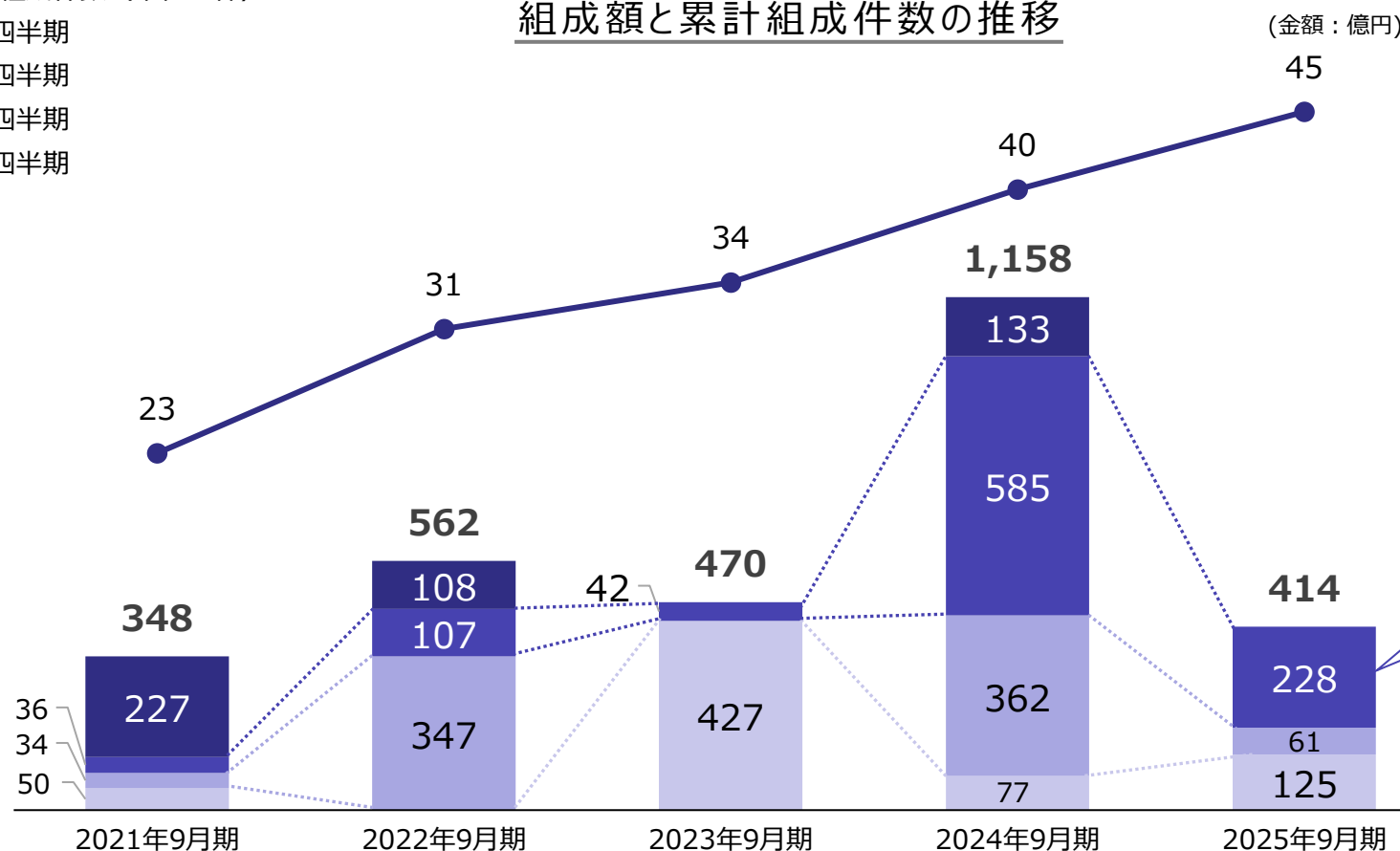
© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

- 2025年5月に竣工した「プレステージレジデンス白金台」※1を組成
- 2025年6月に新宿エリアで5案件目となる「F P Gリンクス新宿サウスII」※2を組成
- 第4四半期以降も、積極的な組成を継続

● 累計組成件数（単位：件）

■ 第4四半期
■ 第3四半期
■ 第2四半期
■ 第1四半期

組成額と累計組成件数の推移



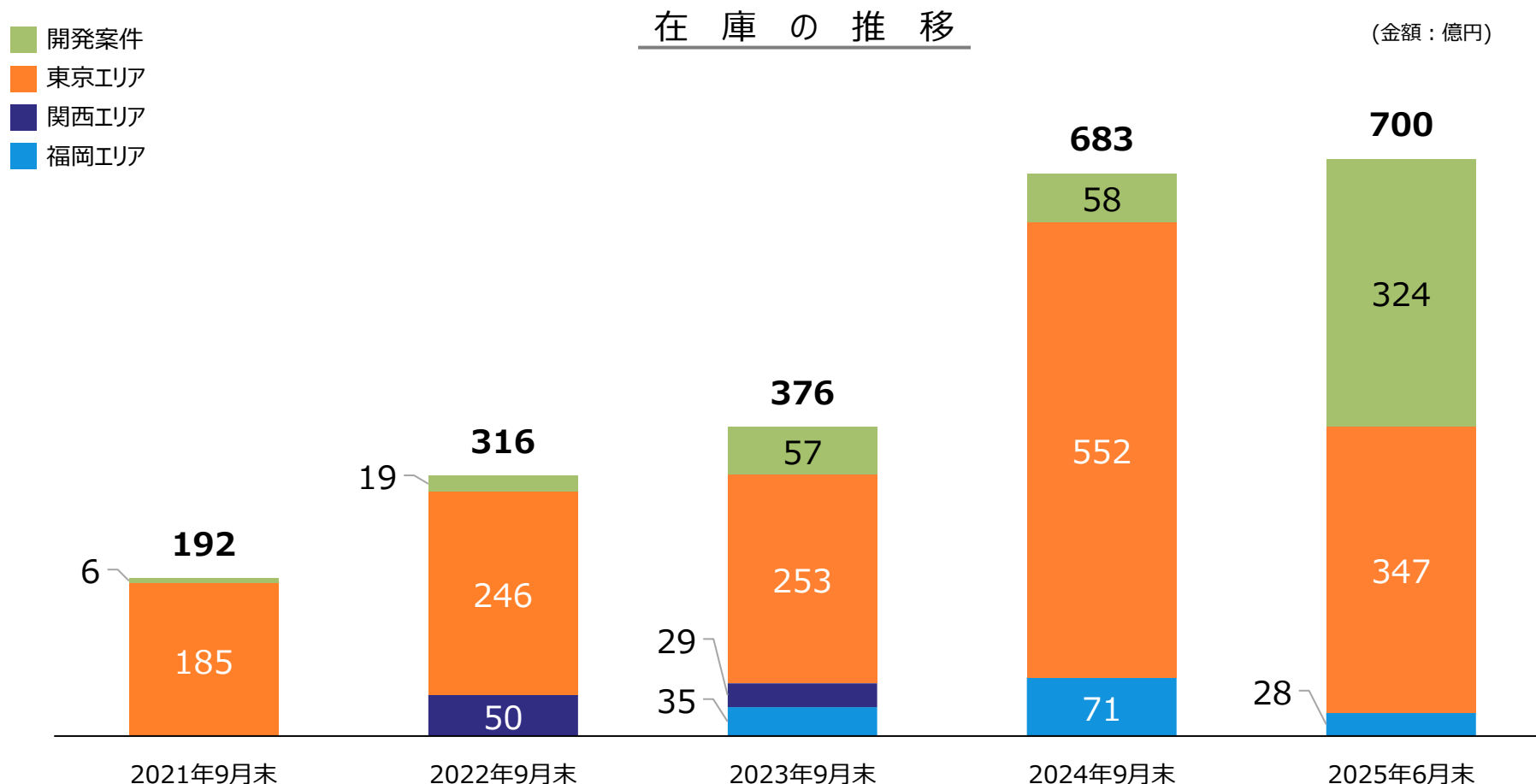
プレステージレジデンス白金台



F P Gリンクス新宿サウスII

※1 2025年6月16日付 PR開示 [「開発案件建物の取得完了に関するお知らせ」](#)
 ※2 2025年6月20日付 PR開示 [「組成用不動産\(Premium Asset Series\)の取得完了のお知らせ」](#)

- 2025年6月に大規模開発案件「神宮前5丁目計画」の用地を取得※
- 第4四半期以降の販売に向けた在庫を確保



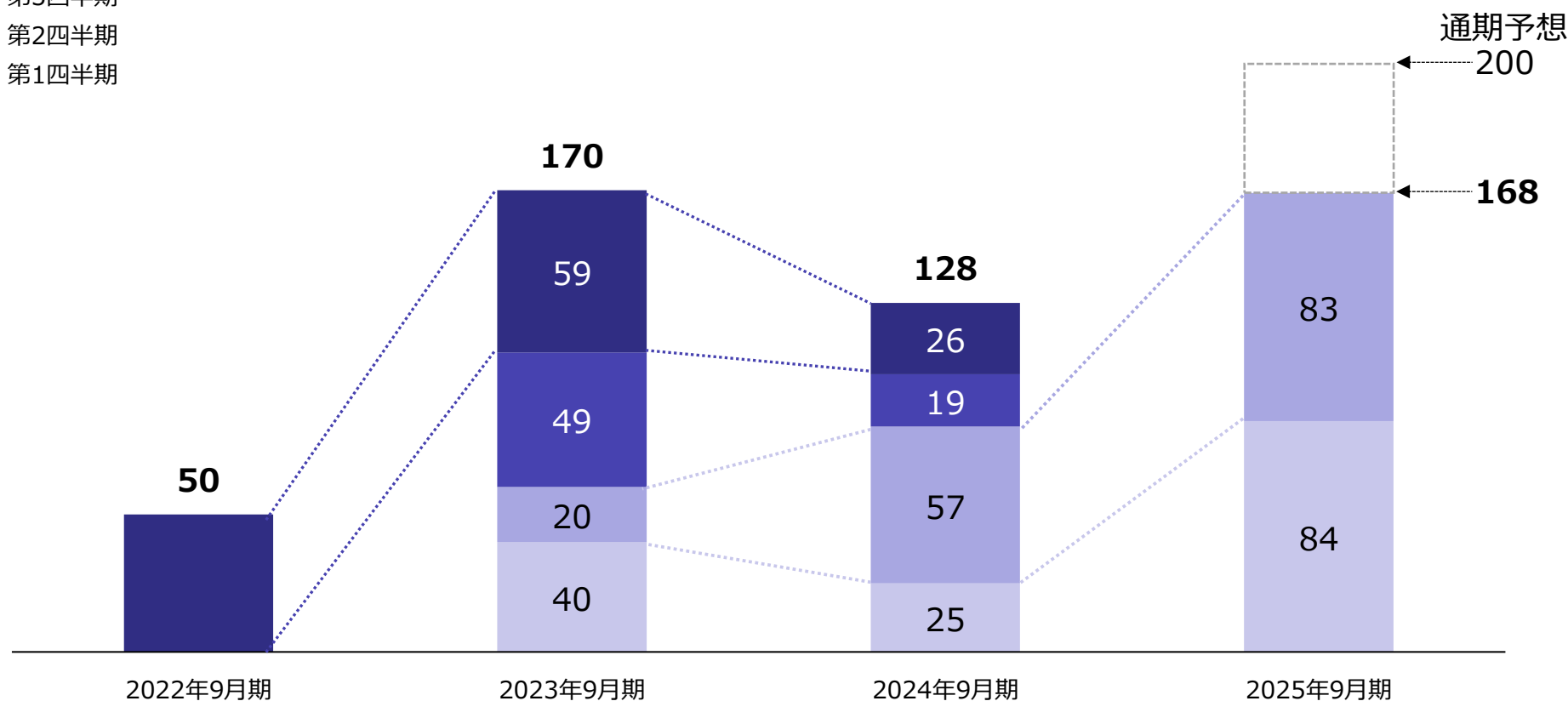
※ 2025年6月25日付 PR開示 [「開発案件用地の取得完了に関するお知らせ」](#)

- 在庫完売に伴い、第3四半期における販売実績は無し

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

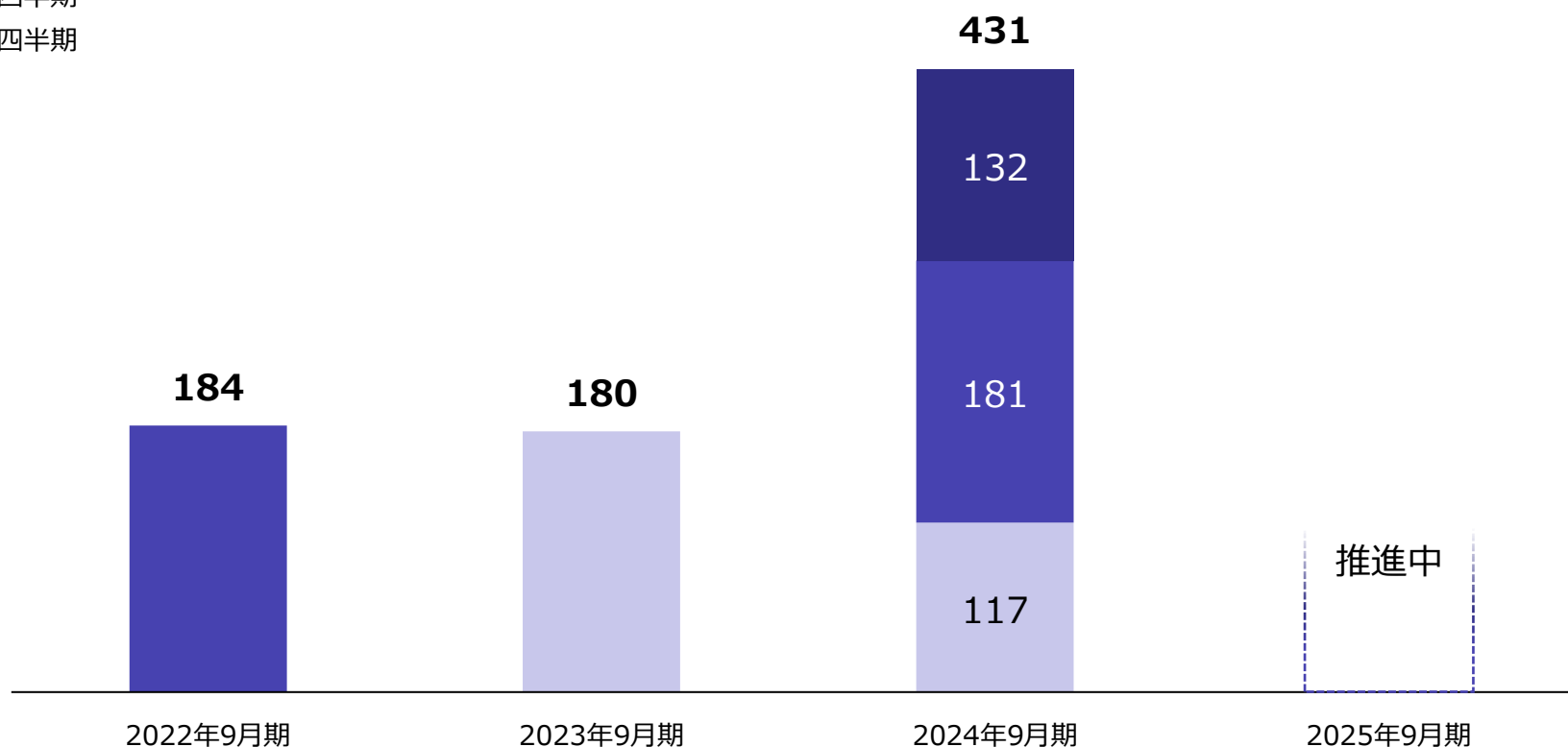


- 第6号案件以降の新規組成は、トランプ政権による関税政策等の影響を注視しながら、慎重な取組みを継続

組 成 額 の 推 移

(金額：億円)

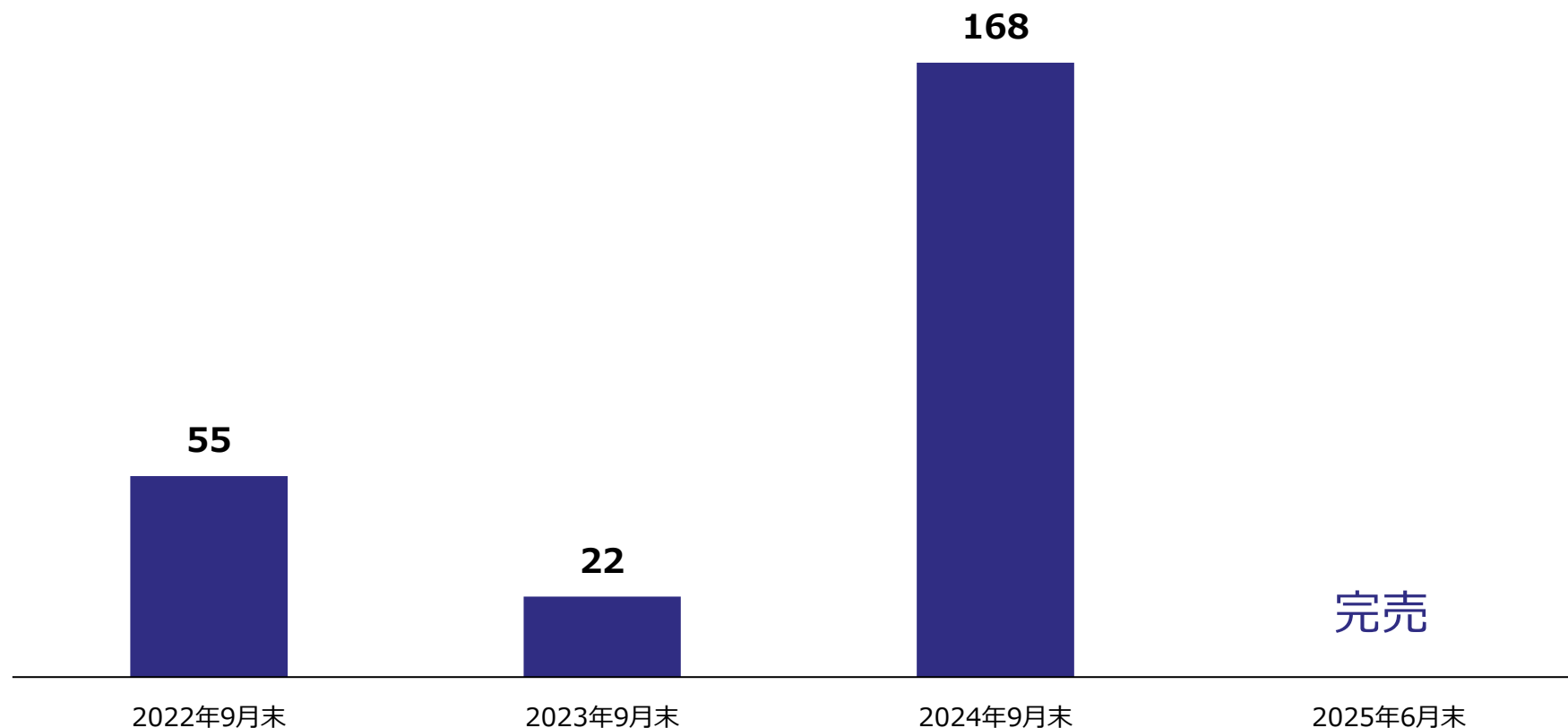
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 期初在庫は積極的な販売を推進した結果、上期で完売
- 第4四半期以降の販売に向けた在庫の確保を推進

在庫の推移

(金額：億円)



ご参考

連結損益計算書の概要

(金額：億円)

	2024年9月期 第3四半期	2025年9月期 第3四半期	対前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	813.1	906.9	+93.8	+11.5%
① 売上原価	508.5	634.7	+126.2	+24.8%
売上総利益	304.6	272.1	▲32.4	▲10.6%
販売費・一般管理費	73.7	79.4	+5.7	+7.8%
営業利益	230.9	192.7	▲38.1	▲16.5%
② 営業外収益	22.7	26.7	+3.9	+17.2%
③ 営業外費用	18.9	17.6	▲1.3	▲7.3%
経常利益	234.7	201.8	▲32.8	▲14.0%
税引前四半期純利益	240.2	200.8	▲39.4	▲16.4%
法人税等合計	73.8	63.3	▲10.5	▲14.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	166.2	137.5	▲28.6	▲17.2%

① 売上原価
不動産取得原価、リースファンド事業
案件組成コスト、顧客紹介者への
支払手数料等を含む

② 営業外収益
一時的に立替えた出資金を投資家
に販売する際に徴収する立替利息
(受取利息として計上)、金銭の信託
運用益等を含む

③ 営業外費用
資金調達に伴う支払利息等

連結貸借対照表の概要

(金額：億円)

資産	2024年9月期	2025年9月期 第3四半期	増減額
流動資産	2,216.7	1,577.2	▲639.4
現金預金	174.4	135.2	▲39.2
①商品出資金	1,247.6	623.6	▲624.0
②金銭の信託（組成用航空機）	21.0	21.0	+0.0
③組成用不動産	683.3	700.8	+17.4
販売用航空機	-	28.5	+28.5
固定資産	89.4	75.2	▲14.2
資産合計	2,306.1	1,652.5	▲653.6
負債・純資産	2024年9月期	2025年9月期 第3四半期	増減額
流動負債	1,317.4	738.4	▲579.0
短期借入金等	1,046.0	593.0	▲452.9
④契約負債	169.9	70.0	▲99.9
固定負債	455.4	386.4	▲68.9
長期借入金等	450.2	380.6	▲69.5
負債合計	1,772.9	1,124.9	▲647.9
純資産合計	533.2	527.5	▲5.7
負債純資産合計	2,306.1	1,652.5	▲653.6

- ① 商品出資金
リースファンド事業および海外不動産ファンド事業において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
- ② 金銭の信託（組成用航空機）
航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③ 組成用不動産
国内不動産ファンド事業における在庫

- ④ 契約負債
主にリースファンド事業および海外不動産ファンド事業における手数料

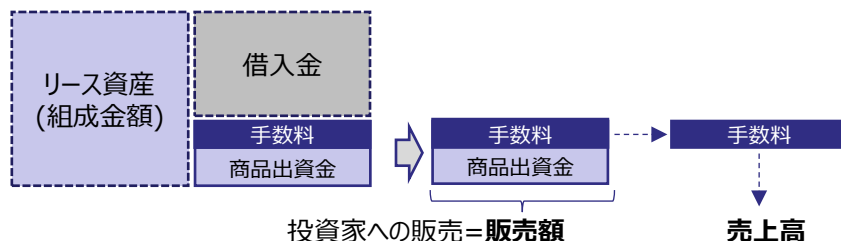
本資料中の事業区分と売上高について

■ 本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの事業区分に分けて説明しております。

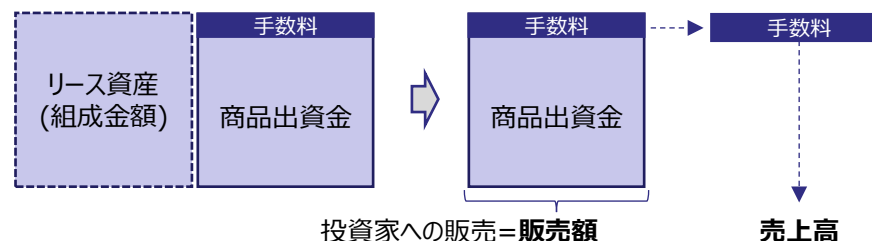
リースファンド事業

航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。組成案件は一般的に借入金を組入れています。組成条件次第で借入金を組入れない「フルエクイティ案件」を組成する場合があります。

【借入金を組入れる案件】

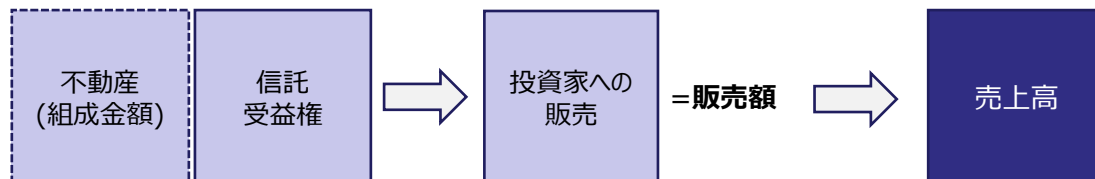


【フルエクイティ案件】



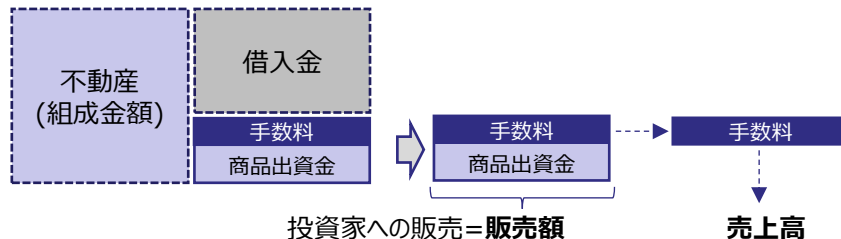
国内不動産ファンド事業【不動産小口化商品】

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上し、不動産取得額を原価に計上しています。



海外不動産ファンド事業【海外不動産投資商品】

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。



その他事業

航空事業、共同保有プラットフォーム事業、M&A事業等を総称して、「その他事業」としています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>